

2017年度クリニックラウン派遣事業 (2017年4月~2018年3月)

- 病院への訪問回数 **301回**
- 派遣クリニックラウンの数 **のべ 602名**
- 訪問病院 **47病院**
- 訪問によって関わった **約 9,428名**



2017年度クリニックラウン訪問病院

- <近畿> 16 病院**
- 大阪母子医療センター
 - 大阪大学医学部附属病院
 - 大阪市立総合医療センター
 - 堺市立総合医療センター
 - 大阪府立急性期・総合医療センター
 - 日本赤十字社大阪赤十字病院
 - 大阪医科大学附属病院
 - 森之宮病院
 - 北野病院
 - 京都府立医科大学附属病院
 - 兵庫県立こども病院
 - 加古川中央市民病院
 - 兵庫県立尼崎総合医療センター
 - 兵庫医科大学病院
 - 奈良県立医科大学附属病院
 - 日本赤十字和歌山医療センター



- <東北・北海道> 6病院**
- 札幌北極病院
 - 旭川医科大学病院
 - 宮城県立こども病院
 - 東北大学病院
 - 若手県立大船渡病院
 - いわき市立総合医療センター

- <中国・四国・九州・沖縄> 12病院**
- 岡山大学病院
 - 香川大学医学部附属病院
 - 愛媛大学医学部附属病院
 - 高知大学医学部附属病院
 - 熊本大学医学部附属病院
 - 熊本赤十字病院
 - 琉球大学医学部附属病院
 - 沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター
 - 中頭病院
 - 那覇市立病院
 - 沖縄中部療育医療センター
 - 沖縄南部療育医療センター



- <中部・北陸> 6病院**
- 福井大学医学部附属病院
 - 富山大学附属病院
 - 静岡県立こども病院
 - 信州大学医学部附属病院
 - 浜松医科大学医学部附属病院
 - 愛知県心身障害者中央コロニー病院

- <関東> 7病院**
- 日本大学医学部附属板橋病院
 - 東京慈恵会医科大学附属病院
 - 東京医科歯科大学医学部附属病院
 - 茨城県立こども病院
 - 千葉県こども病院
 - 群馬県立小児医療センター
 - 自治医科大学とちぎ子ども医療センター

**2017年度は、全国47病院を301回訪問！
入院している子どもたち9,428名に「こども時間」を届けました！**

2017年度クリニックラウンが沖縄県内の6病院を訪問！

2017年度は、沖縄県内の6病院へクリニックラウンが訪問しました。また第6回小児診療多職種研究会の基調講演にてクリニックラウンの活動を紹介するなど、沖縄県内の病氣や障害を抱える子どもたちを支えている方々と交流する機会をつくることができました。訪問した病院のスタッフからは、今後も来てほしいという感想をいただいております。2018年度も継続的に、クリニックラウン沖縄訪問を実施し、病棟スタッフとの連携を深めていき、たくさんのおこども時間を届けていきたいと思います。これからも応援をよろしくお願いいたします。



●沖縄県内のクリニックラウンの訪問実績

病院名	2017年度	2016年度	2015年度
琉球大学医学部附属病院	1回	1回	1回
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター		1回	1回
中頭病院			1回
那覇市立病院			1回
沖縄中部療育医療センター			1回
沖縄南部療育医療センター			2回



※クリニックラウンは2名1組で訪問するため、イメージの場には訪問数で活動した場数を2倍とする。



訪問先病院から届いた感想

今回、クリニックラウンは、沖縄の6カ所の基幹病院小児科病棟、療育医療センターを訪問致しました。初めての訪問される施設がほとんどで、各施設では入院中の子どもたち、医療従事者から熱狂的な歓迎を受けました。長期入院中のこども、自閉的な子どもたちに笑顔を取り戻させてくれました。担当医、看護師はクリニックラウンの効果に驚き、賞賛の声をあげていました。

また、平成29年11月3日~4日の2日間、第6回日本小児診療多職種研究会では、形式張った研究会になりがちな会場に笑いと明るい風を導いてくれました。とても華やかでアットホームな研究会になりました。参加者はクリニックラウンの素晴らしさを口々に話しておりました。研究会では参加者が400名を超え、盛会のうちに無事終了致しました。これまでの研究会と異なる、とても活気に満ちた研究会だったと思います。

医療現場でのクリニックラウンの効果はすでに知ってはいましたが、沖縄に呼んで活動するにはどうしても予算の工面が出来ず、何年も待つ必要がありました。この度、「歯の妖精 THOOTH FAIRYプロジェクト」からの助成のおかげでクリニックラウンの来沖が実現し、沖縄の子どもたちに多くの笑顔を届けることが出来ました。THOOTH FAIRYの活動は、本当に必要な場所。人に、本当に必要なものを繋ぐ架け橋として多大なる貢献をしていると認識しております。THOOTH FAIRYの関係者、参加歯科医師の皆様には文面で感謝を伝えることが出来ないくらいの思いを抱いております。今後とも世界中の人々の架け橋となって、素晴らしい理念の実行と貢献を期待しております。この度は沖縄県の子どもたちの架け橋を誠にありがとうございます。今後のTHOOTH FAIRYのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。



平成29年11月6日
第6回小児診療多職種研究会 会頭
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児外科
金城 僚

※1 「歯の妖精 THOOTH FAIRYプロジェクト」は、公益社団法人日本歯科医師会協力のもと、日本財団がすすめる社会貢献プロジェクトです。歯科医院で治療上除去した冠などの金属をご寄附いただき、リサイクルした資金で、国内外で難病や貧困と闘う子どもたちの支援に活用しています。(主催:公益財団法人日本財団 協力:公益財団法人日本歯科医師会)



入院中の子どもたちの心が動く瞬間を届けたい



子どもたちや家族や
スタッフから届いた手紙(一部紹介)



すべての子どもに
子ども時間を

"Time to Be a Kid" for All Children



先日は、病棟訪問をしていただきありがとうございました。今回も子どもたちのたくさんの笑顔に出会い、楽しい時間となりました。2回目ということもあり、子どもたちにクリニックラウンの時間を楽しんでもらえるようにスタッフも事前に準備し、ドキドキしながら楽しみに待っていました。子どもたちも家族もクリニックラウンの“ギーター”、“きゃー”の姿を見た時の目の輝きや何が起るの？と様々な反応があり、かかわりの中で心が引き込まれていく姿を見てクリニックラウンのすばらしさを再度実感することが出来ました。

翌日も子どもたち同士でクリニックラウンの話をしたり、同封させていただいている絵や手紙を描いているときに「ピエロさんといっぱい遊んだよ。お皿回せたー」と笑顔で話していました。子どもに付き添いしているお母さんは「個室で、子どもがしんどそうしていると笑うことも少ないけど、楽しかった。私も楽しませてもらえました。ありがとう」と楽しそうに昨日のことを思い出しながら笑顔で話されていました。

痛いこと・辛いことや長期に入院している子どもや家族にとって、思いきり笑い・思いきり楽しむ時間となったことをうれしく思っています。また、入院したことが子ども達にとって嫌な思い出だけにならないように、日々のかかわりの中で子どもたちを笑顔に出来るように私たちも頑張っていこうと思っています。



「ピエロさんが来る！」子どもたちは何日も前から楽しみにしていました。当日は朝からソワソワする子どもたち。「まだかな？」「いつくるの？」と何度も聞いてくるほどでした。“ポリタン”、“ひろ”が子どもたちの部屋に入ってきた瞬間、ドキドキとワクワクの入り混じった表情。そして、マジックや皿回しが始まると満面の笑みで「私も！ほくも！」と手をあげて参加する姿を見ることができ、私たちスタッフもみんなが笑顔になりました。当病棟では面会の制限もあり、家族に会えない寂しさを持ちながら、毎日子どもたちはリハビリに励んでいます。そんな子どもたちが一瞬にして笑顔になれる、そんな機会を作っていただけたことに本当に感謝しています。ありがとうございました。

森之宮病院 病棟スタッフ(看護師)

子どもたちは、クリニックラウンの“ポリタン”と“まめたん”が繰り出す表情豊かな動きに魅せられて、どんどん二人の世界に引き込まれ、みんな笑顔で楽しんでいました。子どもたちだけでなく、ご家族の方々や病院職員までもが、いつの間にか一緒に笑顔になっておりました。このように心癒される素敵なお時間を提供いただきましたこと心より感謝申し上げます。

兵庫医科大学病院 病院長 難波 光義

今回も子どもたちのために長い時間をかけて病室を回り、子どもたちに笑いやすい時間を届けていただき本当にありがとうございました。また次回のことを考えると今からワクワクしています。次回の訪問を今から楽しみに待っています。

大阪医科大学附属病院 65病棟 スタッフ一同・看護師長 川上和美

2017年度クリニックラウン養成事業

●クリニックラウン研修

クリニックラウンの専門性を高めるために、年間15回(103時間)の研修を実施し、のべ240人のクリニックラウンが研修に参加しました。



クリニックラウン研修会

2017年度クリニックラウン啓発事業

●講演会・ワークショップ・報告会など

クリニックラウンの活動紹介やクリニックラウンの事例報告、こどもと関わる視点と伝える講演会。クリニックラウンの養成トレーニングをもとに、医療教育関係者やこどもと関わる人々を対象とした研修会やワークショップ。支援者への活動報告会やチャリティイベントなどを開催しました。



「RED NOSE DAY with Clinicloun」



啓発ブースにて活動紹介

- 主催事業・・・「クラウンケーションワークショップ」
「RED NOSE DAY with Clinicloun」
- 対外的な啓発活動 45回



●取材協力

掲載新聞 9回
TV・ラジオ 10回
掲載紙など 16誌

2017年度 決算報告

●収支報告

<収入の部>

受取会費	1,445,000円
受取寄附金	11,645,077円
受取民間助成金	6,251,150円
受取公的補助金	0円
自主事業収入	7,998,927円
委託事業収入	0円
その他収益	85,752円
経常収益計	27,425,906円

<支出の部>

事業費	30,816,141円
(うち人件費)	8,739,304円
管理費	4,855,760円
(うち人件費)	2,743,568円
経常費用計	35,671,901円
当期経常増減額	-8,245,995円
当期正味財産増減額	-8,245,995円
前期繰越正味財産額	38,205,565円
次期繰越正味財産額	29,959,570円

●貸借対照表

<資産の部>

流動資産合計	8,303,759円
固定資産合計	25,323,082円
資産合計	33,626,841円

<負債及び正味財産の部>

流動負債合計	3,667,271円
固定負債合計	0円
負債合計	3,667,271円
正味財産合計	29,959,570円
負債及び正味財産合計	33,626,841円



認定NPO法人日本クリニックラウン協会への寄附金は、寄附金控除の対象になります

★認定NPO法人とは

NPO法人のうち、その運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資することについて一定の要件を満たすものとして、所轄庁の認定を受けた法人のことです。
認定NPO法人である日本クリニックラウン協会へご寄附いただくと、以下の税制優遇を受けることができます。

- 個人が認定NPO法人へ寄附をすると、「寄附金控除」を受けられます。
- 法人が認定NPO法人へ寄附をすると、「損金算入限度額」の枠が拡大されます。
- 相続人が認定NPO法人へ寄附をすると、寄附をした「相続財産が非課税」になります。

★個人によるご寄附の場合

認定NPO法人である日本クリニックラウン協会へ年間2,000円を超える寄附をした場合、次の限度内で「寄附金控除」を受けることができます。なお、所得控除方式と税額控除方式のうち、寄附者が有利な方を選択できます。

●所得控除方式

(寄附金額(総所得金額等の40%が限度) - 2,000円) = 所得控除額
※所得控除額が大きいほど課税対象額が少なくなります。(所得が多い人ほど有利)

●税額控除方式

(寄附金額(総所得金額等の40%が限度) - 2,000円) × 40% = 寄附金控除額(所得税額の25%が限度)
※所得に関わらず原則的に減税額は同じ。
※大阪市、大阪府にお住まいの方の個人住民税でも、税制上の優遇措置を受けることができます。

認定NPO法人に10万円寄附すると所得税額(復興税含む)が最大で40,100円安くなります!

★法人によるご寄附の場合

- 特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会にご寄附いただくと、一般寄附金の損金算入限度額以外に別枠で損金算入できるようになります。一般のNPO法人への寄附と比べ、寄附金を経費にできる限度額が高くなります。
- 寄附をした日を含む事業年度の確定申告の際に、申告書に必要事項を記載し、申告してください。
- 「特定非営利活動に係る事業に係る寄附である」旨などを証した書類(通常は領収証で可)を保存しておく必要があります。

★相続または遺贈によるご寄附の場合

- 日本クリニックラウン協会への寄附には相続税がかかりません。
- 相続または遺贈により財産を取得された方が、相続税の申告期限内に取得財産などを寄附した場合、寄附をした財産部分には相続税が課税されません。相続税の申告書提出の際に、特例措置の適用を受ける旨を申告書に記入し、申告してください。
- 寄附した相続財産の明細書、当団体発行の領収書を添付する必要があります。
(※特例措置を受けるためには相続税の申告期限までに寄附をしていただく必要があります。)

ご寄附のお願い

クリニックラウンの活動は多くの皆様からの寄附に支えられています。入院中のこども入院中のこどもたちや家族が笑顔になれる「こども時間」をたくさん届けていくために、ご協力をお願いします。

郵便払込口座番号: 00920-3-118693
加入者名: 特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会

- ※当協会のホームページからクレジットカードでの寄付ができます。
- ※振込確認後、領収書を発行いたします。発行日は振込いただきました翌月の下旬を予定しています。
- ※お早目に必要とございましたら事務局までご連絡ください。

ご寄附ありがとうございます。これからの入院中のこどもたちを笑顔にするために、ご寄附をお願いします。